



かつやま 12月定例会報告
2022.1.27

議会だより No.82



↑
議会中継動画は
コチラから



1月8日 清大寺前で行われた出初式



勝山市議会
Facebook
始めました
※裏面参照



■ 定例会審議結果

詳細は
11ページ

■ 一般質問

詳細は
3～10ページ

■ 常任委員会・特別委員会報告

詳細は
2～3ページ

12月

定例会

(11月26日～12月16日)

● 予算委員会

審査の結果、令和3年度勝山市一般会計補正予算(第4号)、同(第5号)を可決しました。

◆ 地域ぐるみ雪下ろし支援事業 — 事業の主旨と対象者にズレはないか —

予算額：100万円

委員：事業の対象者には見直しが必要な点がある。母子世帯の中学生が高校生になると、雪下ろし作業が可能とみなされ対象外になってしまう。対象者の拡充が必要ではないか。

理事者：対象者の選定に線引きは必要。現在は先進地の例を参考に決定している。

委員：市の雪対策について、「今後増えるであろうゲリラ豪雪に備えての計画である」との説明だが、今までとこれからは違うという新たな線引きをして計画を立てたにも関わらず、雪下ろし事業に関しては従来どおりの線引きをしている。対象者の見直しを考えるべきだ。

◆ 令和3年度子育て世帯臨時特別給付金 — 12月24日に1回目の5万円支給※ —

予算額：1億5,032万6,000円(全額国庫負担)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯に、生活支援として子供1人当たり5万円※を給付するものです。

委員からは、「2回目の支給はクーポンか現金か。」との質問があり、理事者からは「国の動向を見ているが、現金で支給したい思いはある。」との回答がありました。

※その後、12月24日に一括で10万円を支給することとなりました。

● 建設産業委員会

審査の結果、議案11件を全て可決し、陳情1件を趣旨採択としました。

◆ 大蓮寺バイパス幹線整備工事請負契約の締結について

元町交差点付近で施行する大蓮寺バイパス幹線整備工事の入札結果や工事の概要、工事に伴う交通規制等の説明を受けました。契約金額は2億3,628万円。

元町交差点付近の交通規制は、福井県が実施している工事の関係上、令和5年度末までかかる予定との説明がありました。

採決の結果、全会一致で原案を可決しました。

● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案6件を全て可決しました。

◆ 勝山市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について

令和4年度行政組織の改編により、教育委員会が所管する事務の一部を市長部局で管理し、執行できるようにするとのことでした。

移管・委任による効果として、幅広い行政事務を市全体で取り組み、市民活動やイベントと連携または一体として、観光資源として活用を図っていくとの説明がありました。

委員からは、教育委員会の所管では義務教育だけが残ることになり、教育委員会の威厳が損なわれたのかとの意見もあり、反対討論もありましたが、採決の結果、原案のとおり可決しました。

● 総合計画特別委員会

理事者から第6次勝山市総合計画（素案）と今後のスケジュールについて説明がありました。

委員からは、「勝山市の魅力やポテンシャルを政策に活かすことが重要で、産業振興や観光分野への具体的な活用を盛り込むべき。」「10年後の勝山市が明確に想像出来るよう表現方法を工夫してほしい。」といった意見がありました。

理事者からは、勝山市総合行政審議会への諮問や審議、パブリックコメントの募集等、各界各層の意見を十分に聞きながら議会にも報告し、計画作業を進めていきたいとのことでした。

● 議会改革特別委員会

委員会では、主に議員定数に特化して議論しました。各委員に行ったアンケート結果や定数の理由について意見を交わす中で、人口や経費、市民の声、議会の役割、若者や女性の参画等、いろんな観点から多くの意見がありました。その後、論点ごとに議論を交わしました。

今後は、1月には方向性を決め、2月に委員長報告と定数を変更する場合には条例改正案を協議したうえで、3月に上程して議決する予定です。



一般質問Q&A

山田安信
議員
日本共産党



○ 中学校の統廃合について

その他の質問

- ・ 総選挙の結果と今後の対応について
- ・ 令和4年度予算編成方針について

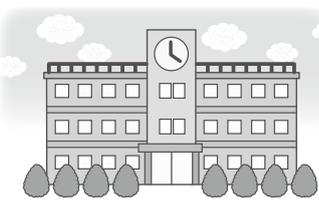
問 ①市教育委員会が作成した文書に、県教育長が「勝山市における中高併設は可能で意義あるものと判断」したと記述しているが、県は「該当する公文書を作成し、または取得しておらず」と通知し、県職員は「可能性を検討しただけ」としている。市教育委員会は、根拠資料もなく当事者に確認もせず、勝手に文書を作成するのか。

答 ①当該文書については、県教委に示していないが、事前に県の考え方をしっかり確認してまとめたもので、勝手に憶測等で作成することはありません。なお、県教育長は報道機関の取材に対して「中高併設は高校の魅力向上にも繋がる」と説明されている。

②県教委とは何度も協議を重ねてきたが、情報公開された文書については勝山市教委が承知していたものではなく、同意した内容ではない。

③勝高も含めた話し合いで、勝高の第1、第2体育館とグラウンドも中高が共用することを前提に、ジオアリーナと長山公園グラウンド等も含めて対応することを基本に今後詳細な調整をしていくということ、話し合いを進めてきた。

これまでの考え方として、高校グラウンドから国道のジオアリーナ前の信号に出る道を拡幅整備し、渡り廊下を設けるといふ案があったが、より安全かつスムーズなアクセス方法がないか、現在検討中である。



新風会・公明
竹内和順
議員



○ 森林環境保全について
○ 市行政と勝山高校の協働について

その他の質問

・第6次勝山市総合計画について 他

問 平成31年に、森林環境税および森林環境譲与税が創設され、市町村による森林整備に必要な財源が確保できるようになり、森林所有者の意向調査がどのくらい進んでいるのか。

答 また、森林経営管理制度を取り入れた森林管理システムの一新で伐採や造林等整備事業の現況を伺う。

問 市では、令和2年度から令和11年度にかけて市内全域の森林所有者に意向調査を実施していくが、令和2年度は森林所有者107名、364筆、令和3年度は森林所有者162名、535筆について意向調査を行っている。

答 意向調査により、所有者から経営管理の委託の申し出を受けて、順次、経営管理集積計画、経営管理実施権配分計画の策定に向け協議を進めていく。自然的条件等で林業経営に適さない森林は、市の森林経営管理事業において管理コストの低い針広混交林への移行を図っていくなど、市内森林区域の適正な管理に努めていく。

なお、森林環境譲与税の使途は、森林の適正な整備や管

理を効率的に行うためには欠かせない事業のほか、例えばジオサイト等へのアクセス道路としても必要となる林道整備等に充て、持続可能な森林環境保全に努めたい。

問 小中学校までは勝山市立の小中学校で、勝山高校は県立で、市とは切り離されがちだが、地方創生における高校の価値が改めて示される中、市町村としても高校を核とした地方創生に取り組む必要性が示唆されている。

答 高校と自治体行政との協働についての市の見解を伺う。

問 勝山高校は、来春より「探究特進科」を新設するが、市は探究活動における地域課題として、市内企業や地場産業の活性化等のテーマも取り上げてもらい、市内企業等と勝山高校との連携に関して積極的に関与していく。

答 勝山高校と地域が協働・連携していく中で、生徒と企業等の間を橋渡し役としてサポートするコーディネーターの存在も重要で、現在、その人材確保について勝山高校と協議している。

新風会・公明
安岡孝一
議員



○ 「多重介護」の介護者の支援について
○ 「コロナワクチン」3回目の接種について

その他の質問

・超高齢社会における「フレイル予防策」の強化について 他

問 実の親と義理の親や親と配偶者など、1人で複数の家族を介護する「多重介護」を行っている方の中には、仕事と介護の両立に悩み、離職するケースもある。介護者の収入が途絶えてしまうと負のスパイラルは加速し、経済的に行き詰ってしまう。

答 勝山市でも多重介護の問題について相談できる体制が必要ではないか。また、アウトリーチやいろいろな機会を通して声かけをしていくことが大事ではないか。

問 多重介護の勝山の現状と介護者の今後の対策を伺う。

答 高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターには介護に関する様々な相談が寄せられている。介護者だけでなく、民生委員や近所の方など地域で見守りをされている方が介護者を心配して相談に来られる場合もある。

問 ケアマネジャーが毎月の家庭訪問等に、介護で気がかりな点がある場合やケアプランを作成する際には、市が作成したアセスメントシートを用いて客観的に介護負担を把握し、負担が重いと判断した

場合は、介護負担が軽減できるよう、ケアマネジャーと連携をとって、サービスを調整していく。

問 3回目のワクチン接種について、新型コロナウイルスワクチン接種が進んだこともあり、国内の新規感染者数は急速に減少しているが、海外の研究では時間の経過とともに2回目接種完了の「おおむね8か月以上後から行う」と明記されている。

答 3回目のワクチン接種の計画や実施について、市民に分かりやすく広報等で説明をお願いしたい。

問 12月2日から福井勝山総合病院で医療関係者に対する接種を開始し、順次3回目のワクチン接種を進めている。

答 国が同じメッセージRNAワクチンであるモデルナ社製ワクチンとファイザー社製ワクチンとの交互接種を認めている点、従来との大きな違いである。

詳細については、確定した事項から毎月の広報や公式ホームページ等を通じて情報提供していく。

一般質問Q&A

○ 新型コロナワクチン未接種差別の禁止条例について ○ 補聴器購入への補助について

その他の質問

・ 带状疱疹ワクチンへの補助について 他



下道恵子
市議会議員

問 政府は、ワクチンを2回接種したか、検査にて陰性を示す証明書を利用した「ワクチン・検査パッケージ」をイベントなどに活用すると発表した。しかし、アレルギーがあるなどの未接種者が世間の差別的な目に触れることにならぬと「新型コロナワクチン未接種差別の禁止条例」を定めた県が8県ある。市でも条例を制定してはどうか。

答 政府は、ワクチン未接種者に対する差別の禁止などが規定された条例を制定している自治体もあるが、これらは強制力を持った条例ではなく、差別禁止についての自治体の責務や住民への協力について規定した理念的な条例となっている。新型コロナワクチンに関する差別だけでなく、地域や職場、SNS等におけるあらゆる差別に反対するという勝山市の考え方や立場は、これらの自治体と同様である。

「ワクチン・検査パッケージ」については、国や県の動

向を踏まえ、市の会議や公共施設の活用等へ活用することで、市民生活の活性化と安全安心につなげていく。

問 高齢になると、聴力低下により相手の声が聞き取れなくなる方が増え、補聴器を必要とする方が出てくる。これは公的医療保険適用にはなっていない。安くても片耳だけで1万円前後から5万円位である。耐用年数は約5年間とあり負担も大きい。

答 補聴器は高価なものが本人にとって良い補聴器とは限らず、それぞれの聞こえに合わせた補聴器を選ぶことが大切である。

聴力が規定以下の場合、身体障害者手帳の交付申請をして重度難聴または高度難聴と認定されると障害者総合支援法により補聴器購入時に補装具費の支給を受けることができる。この制度を利用して正式な判定を受けた上で、聞こえの状況に応じた補聴器を利用されるようお願いしたい。

一般質問Q&A

○ 行政組織機構の改編について ○ マイナンバーカードの普及推進について

その他の質問

・ 会計年度任用職員制度について 他



近藤栄紀
市議会議員

問 今回の改編により、北谷、野向以外の8地区の公民館は（仮称）まちづくり会館として、従来どおり行政が運営を担うとしているが、職員は仕事量が増え、現人員、報酬では先が見えない。改善する気持ちはあるか。将来、暗に指定管理者制度を導入して、市から切り離す手段ではないか何う。

答 今回の機構改革により公民館が（仮称）まちづくり会館となった後は、区長会の事務局や一時避難所、地域福祉、高齢者福祉などについても本来の業務として実施していく。位置づけは大きく変わるが、実質的な仕事量が4月の時点で大きく増えることはない。

また、北谷と野向以外の8地区のまちづくり会館については、引き続き市直営で運営を行っていく。今後も指定管理者制度への移行を市から働きかけることは考えていない。

問 マイナンバーカードの普及率が50%を超えることにより、来年度にはどのような市民サービスが可能になるのか。10月20日から「マイナ保険証」の運用が始まったが、当市においてどのような状況になつていくのか何う。

答 来年度に向けて、マイナンバーカードを活用したサービスとして、コンビニ交付サービスや窓口での各種申請書作成支援システムの導入のほか、スマホや自宅パソコン等からオンラインで各種証明書の発行申請を行えるサービスの提供を予定している。

市内医療機関におけるマイナンバーカードの健康保険証利用対応状況については、現在のところ福井勝山総合病院のみ運用しているが、市内の医療機関等に導入の有無について問い合わせたところ、ネットワークへの接続等の準備が整った医療機関から順次運用が開始されるとお聞きしている。

一般質問Q&A

- 今後の勝山市政への市長の思いについて
- 中央公園の有効活用について

市民の会
高間清一
議員



問 市長の公約でもある未来志向のまち勝山に向かって、

- ・ 市民優先
- ・ 安全安心快適な住環境
- ・ 必要な整備、ふるさとを守る
- ・ 国や県への働きかけ、市民参加の稼げる町勝山

この4本の柱を中心に頑張ってきたと思うが、まだ1年しか経っていない。今後、新しい町勝山を目指してどのようなことをやっていきたいのか。

答 市立中学校再編と県立勝山高校との連携など教育環境の整備、恐竜博物館のリニューアル、高速交通体系の整備を見据えた観光の産業化、中山間地の住環境の維持と持続可能な農林水産業支援、上下水道や市道を含む公共施設の効率的運用、少子高齢化に対応した福祉体制の見直し、区長会等地域の方々の対話を通じた地域自治の推進等に力を注いでいきたい。来年4月からスタートする第6次勝山市総合計画を推進し、市民と一緒に新しい勝山を創っていききたい。



問 教育会館、市民会館でのイベントや催し物など数多くの行事が行われているが、駐車場が狭く、無いと言ってもいいくらいの状況である。そこで、中央公園の一部を駐車場にはどうか。

答 教育会館や市民会館でのイベントや催し物が行われる際に、駐車場が不足している課題は認識している。中央公園を再整備する際には、市民のための公園、特に市内の子供たちがわくわくするような楽しい公園を目指し、ゆめおーれ勝山の広場のようなコンクリート舗装等多目的に活用できるエリアを整備し、駐車スペースの確保を検討していきたい。

一般質問Q&A

- 中学校再編(案)について
- 勝山市の名産品の活用について

市民の会
富士根信子
議員



問 新中学校建設には、施設を活用する生徒の教育活動主体の考え方の議論・体育館とグラウンドがいらぬ明確な理由を、教育課程編成上の観点から説明していただきたい。

答 中学校再編計画(案)の主眼とするところは、生徒数の減少で生じる様々な問題を学校の再編統合によつて改善し、生徒をしつかり育むことができる新しい中学校の実現を目指すこと。加えて、中高の併設・連携で中学生の多様な能力をより高め、勝山高校の活性化・魅力向上も図る相乗効果を目指すものである。学校施設の整備にあたっては、先生や生徒にとつて中高併設の利点も活かした教育や活動が十分できるよう、施設の機能や配置、動線などを工夫するが、高校施設の共用利用や近隣市有施設等の有効利用も含めて対応していくべきと考えている。

その中で、体育館・グラウンドがいらぬ明確な理由としては、雨等で体育館のみで体育の授業を行う場合を想定したときに、勝山高校のように合同クラスで授業を組み入れれば、カリキュラム編成は可能で、ジオアリーナも含めれば、より柔軟な対応ができると考えている。グラウンドでの体育の授業も、長山公園グラウンドも含めれば十分可能と考える。部活動でも、高校の2つの体育館とジオアリーナ、高校グラウンドと長山公園グラウンド、武道場・弓道場、主に芸術・文科系の部活動の場となる中・高の校舎、必要に応じて市営テニスコートや成器西小学校の施設等を活用すれば、各部活動を振り分けることが可能であると想定している。中高の先生方も相談し、工夫・調整をしていきたい。

問 勝山ブランドのための商品開発と知名度を広げるための宣伝の援助はできないか。婚姻された夫婦、お子さんの誕生に勝山産の繭を使用したシルクソープを贈呈してはどうか。

答 ゆめおーれ勝山では、シルクソープ以外にも絹織物と関係する市内で製造された商品が販売されている。これらの品を繊維のまち勝山の名産品として記念品への活用について検討していく。

一般質問Q&A

○ 行政機構の変更にかかる、行政運営、市民生活、各種計画等への影響について

その他の質問

・農業への支援について 他

市議会
帰山 寿憲
議員



問 行政組織の変更条例が上程されているが、以前の機構変更による利点や課題、また、庁内レイアウトの変更による連絡、決裁、サービスの効率化をめざすDX導入や公民館のまちづくり会館化に伴う公共交通の拠点化の内容、機構変更に伴う各種計画への影響について考えを伺う。

答 令和2年度に実施した行政機構の改正では、部制を廃止して政策幹等を配置し、グループ制から係制へと移行した。スリムな組織体制や政策幹による横断的な行政課題の円滑処理、職責に応じた責任感が高まったこと等が利点であったと考える。

令和2年度の行政機構の改正は、組織内部の職名や体系の見直しを中心で、市民が直接サービス向上を実感するには至らなかった。

今回の改編で縦割り行政の弊害をなくし、1つの所属で幅広い行政事務を展開することで窓口の統合・明確化を図り、あわせてDXの推進を同時に進めて市民サービスの向上に努めていく。

離れた部署との会議や連絡にはZoom等を活用しているが、より一層デジタルの活用を進めていく。

公文書電子決裁システムについては、導入すべきと考えているが、即座に導入するのではなく、日々の業務を行う中で、細かな業務改善や業務フローの見直しに取り組んでいきたい。

公民館が(仮称)まちづくり会館へ移行し、地域のまちづくりの拠点施設となることから、地域が運営する自家所有償旅客運送の拠点となることも十分考えられる。現在策定中の地域公共交通計画では、現在運行しているコミュニティバスと新たに導入を検討する自家所有償旅客運送の組み合わせについて検討していく。

健康増進計画は、令和4年度に中間見直しを予定しており、ウォーキングやフレイル予防等運動による健康づくりの推進を強化し、積極的に取り組んでいく。

なお、今回の改編は、現在策定中の第6次勝山市総合計画の政策実現に向けたものとなっており、素案の中に組織機構改革の考え方を書き込んでいく。

健康増進計画は、令和4年度に中間見直しを予定しており、ウォーキングやフレイル予防等運動による健康づくりの推進を強化し、積極的に取り組んでいく。

一般質問Q&A

○ 国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)で採択された「グラスゴー気候合意」に対する勝山市の取り組みについて ○ 木の駅について

その他の質問

・若手女性農業従事者が直面する難問山積について 他

市議会
丸山 忠男
議員



問 10月31日からスコットランド・グラスゴーでCOP26が開催され、地球の温暖化により地球上に住む様々な生き物の生存が危うくなっている現状を打開するため、1.5℃目標を目指す努力の追及、石炭火力発電の段階的な削減、途上国への資金支援の拡充、国際排出枠の取引ルール等を盛り込んだ「グラスゴー気候合意」が採択された。

この会議で日本は5年間で約1兆1400億円の追加支援を表明し、温暖化ガスの排出量を2030年度までに2013年度比で「46%削減を目指し50%削減の高みに向けて努力する」と発表した。

県内では福井市等6市が、脱炭素社会の実現に向けた都市づくりを掲げ、「ゼロカーボンシティ宣言」をしている。勝山市の地球温暖化対策について市長の見解を伺う。

答 年明けに「勝山市ゼロカーボンシティ宣言」を予定している他、より一層のごみの減量化や省エネの意識啓発に向けた各種取り組みを行っていききたい。2050年までのゼロカーボン達成に向けて、自治体として努力していく。

2009年に恵那市中野方町で始まった「木の駅プロジェクト」は、その後、恵那市で第1回木の駅サミットが開催され、間伐材が地域通貨と交換され、地域の資源が地域通貨となつて循環する取り組みが経済やコミュニティの活性化に貢献するとして注目された。

勝山市においては、九頭竜森林組合が山林の育成からリサイクル製品の開発までの標語を掲げて、間伐材の適切な実施やチップ加工等の事業展開を行っているが、木の駅に対する対応について担当課の見解を伺う。

平成28年度に「木の駅プロジェクト」と同様の目的で「九頭竜山の市場運営協議会」が発足されたが、木質バイオマス出荷補助金の見直し等により令和2年度に解散した経緯がある。

しかし、約80%を森林が占める勝山市にとって、林業の活性化が地域の活性化に大きく寄与することは間違いない。先行事例を参考として、森林環境譲与税の活用も含め研究していく。

勝山市においては、九頭竜森林組合が山林の育成からリサイクル製品の開発までの標語を掲げて、間伐材の適切な実施やチップ加工等の事業展開を行っているが、木の駅に対する対応について担当課の見解を伺う。

一般質問Q&A

○ 小規模多機能自治のまちづくりについて ○ 地域共生社会の実現について

その他の質問

・ 自主財源確保と資金調達について

新風会・公明
松山信裕
議員



問 「小規模多機能自治」とは、概ね小学校区ほどの範囲において住民や地域活動を行う団体で構成される共同体が、地域の実情や課題に応じて市と協力し、多様な機能を担っていくことである。同じ考え方で、地域の住民生活を支えるのが「小さな拠点」「地域運営組織」である。

答 今後、それぞれの地域の持続的な発展を維持していくためには、「小さな拠点」「地域運営組織」に取り組む地域の支援に取り組んでいかなければならないと考えるが市の所見を問う。

答 市内10地区を単位とした（仮称）まちづくり会館およびコミュニティセンターを中核として、小規模多機能自治を推進するための取り組みに対し積極的に支援していく。

地域運営組織について、まちづくり会館の職員は、市から行政協力員として委嘱を受けている区長会の事務局として、小規模多機能自治の考え方を取り入れて地域課題に取り組んでいくことになる。

問 ① 地域共生社会の実現を図るため「重層的支援体制整備

備事業」がスタートした。この事業により介護や障害、子育て支援、生活困窮といった異なる制度を一緒に扱えるようになる。この事業を実施することで、誰も置き去りにしない社会を実現する基盤となる。重層的支援体制の整備を積極的に推進すべき。

② 「8050問題」とは、80代の親が50代の子供の生活を支えるという問題である。その長期化、高齢化が社会問題となっている。「8050問題」の対応、「ひきこもり支援体制」の取り組みをどのように進めるのか。

答 ① 相談者家族の社会参加への支援や地域活動への参加支援等、地域共生社会の実現に向けて取り組むとともに、先進地の事例を参考に実施計画の策定を検討していく。

② 地域包括支援センターや民生委員、障害者支援相談員が別件で家庭訪問に入った際、ひきこもりと思われる事案に気づくこともある。小さな変化も見逃さないよう、継続的に関わりを深め、必要に応じてアウトリーチによる支援、家族が悩みを相談できる機会を今後も提供していく。

一般質問Q&A

○ 市内小学校の障害者用トイレ設置について ○ 消防団員の災害時の出動報酬について

その他の質問

・ 電動車いす購入に対する補助金について 他

新風会・公明
吉田清隆
議員



問 災害時に避難所の役割を担う県内の公立小学校184校のうち、校舎内の障害者用トイレ設置校は91校で、体育館内の設置校は48校である。障害者用トイレは、災害時に必要なことはもちろんだが、平時においても児童や生徒が不慮の事故やケガにより車いすを利用する期間があるかもしれない。

答 市の整備状況を問う。
平成24年度から国の交付金を活用してトイレの洋式化、高質化を進めており、令和2年度までに校舎や体育館のトイレはほぼ洋式化され、トイレ内の段差解消とウォッシュレット化まで整備が終了している。

車いす利用者が使用できるトイレは、多機能トイレの規格を満たす広さではないが、成器西小、村岡小、成器南小の体育館には車いすで回転できる広さを備えたトイレが整備済である。他の小学校にもトイレの高質化工事の際に従来の約1.5倍の広さの個室を確保し、また段差解消を行ったことで車いすが入ることができ、介助者が入る場合も十分使用できる。

問 全国の各自治体の消防団員の人数が減少傾向にあると伺っている。

答 消防団員の方は、各地区の安全・安心を守るため24時間1年中気を配っている。災害はいつ起こるか分からず、場合によっては山や深夜早朝といった非常に厳しい状況での活動もある。消防団員の活動は、職場の協力や家族の理解と協力が不可欠であると思う。消防団員の災害時の出動報酬を災害場所や時間帯によって変更できないか。

答 令和3年4月13日付け消防庁長官通知において消防団員の減少に歯止めをかけるため、消防団員の出動報酬等の基準が示された。これを受けて、県内各消防本部では出動報酬等の見直しを検討している。



一般質問Q&A

○生活費の高騰について ○少子化対策について

その他の質問

・自殺対策について 他

久保幸治
日本共産党
議員



問 原材料価格が高騰する中、日本全国でガソリンや灯油、食料品等の値上げが始まっている。生活必需品は価格が上がっても買わないわけにはいかないため、すでにぎりぎりまで暮らしている市民、特に身障者や生活保護世帯の方は、さらに厳しさを増すことが懸念される。物価の高騰による市民の生活現状など、市の認識およびその対策について見解と方針を伺う。

答 市民の家計を支援する市独自の地域経済対策として、勝ち山飯プレミアム付お食事券事業等を実施し、多くの方に利用されている。また、県立恐竜博物館の営業再開によって市内飲食店や宿泊施設に観光客が戻りつつあり、地域経済にも回復の兆しが見えてきた。

国は11月19日に「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を閣議決定し、ガソリン価格を抑制する原油高対策等、事業規模78・9兆円の支援策が盛り込まれている。国の動向を注視し、生活費の高騰に対応して市民生活を支援する施策を立案し、迅速な実施に取り組んでいく。

問 20年以上前からすでに人口減少による様々な問題が予測されていたにも関わらず、なぜ基本的な少子化対策をしてこなかったのか。当市の政策の見直しや検討も必要と考えるが、そもそも国がこれまで行ってきた少子化対策は失敗だったとの認識はないか。少子化には経済的な不安が背景にあり、若者や社会の経済的基盤を安定させる必要があることから、消費税の減税、廃止を県を通じて国に要望すべき。子育て世代の経済的負担である教育費の軽減として、給食費の無料化を検討する必要があると考えるが市長の見解を伺う。

答 国の様々な少子化対策は、それぞれの分野で一定の効果はあったものの、引き続き100年単位での長期的な展望に立った取り組みを期待する。

県を通じて国に消費税の減税・廃止を要望することは考えていない。

給食費の無料化については、市は人件費等を負担しており、今後給食費の食材費分は保護者の負担をお願いしたい。

一般質問Q&A

○新たな観光事業の産出について

その他の質問

・産婦人科の充実について
・鳥獣害の現状と来年度の予想について

松本聖司郎
新風会・公明
議員



問 ①現在、多くの観光バスが恐竜博物館に来訪しており、活気が戻ってきているのかとバス会社7社にお聞きしたところ、経営は予断が許されない状況が続いているというお話だった。事業者には燃料の補助、利用者にはクーポンの配布等を行うべきと考えるが市の見解を伺う。

②街で活動をする青年団やイベントグループとしては、今後、いろいろな業種を交えたイベントに昇華させたい思いがある。教育会館の駐車場の狭さによる交通の便の悪さや各施設のロッカーの少なさといった勝山市のイベントに関する問題点について、今後どのような対応をするのか伺う。

③かつやま恐竜の森の駐車場の営業について、市外の方からも数件問い合わせが私にも来ている。駐車場エリアの今後の利用について伺う。

答 ①修学旅行や遠足等、教育旅行は回復の兆しが見られるが、募集型のバスツアーは依然として回復が乏しく、先行きも不透明な状況が続いて

いる。大手旅行会社がツアー造成したくなるような魅力ある観光地を目指し、観光資源の磨き上げを図っていく。

市内バス事業者の協力をいただき、12月25日から3月21日までの土日、祝日、年末年始には勝山駅発着市役所駐車場経由でスキージャムへの無料運行バスが出る。利用する市民には、1人3000円相当のリフト代金割引券も提供するので積極的に活用いただきたい。

②大規模イベントや様々なイベントを融合させた総合イベントを実施する場合は、ロッカールームや駐車場を備えたジオアリーナでの開催を検討していく。民間の主催者にも大規模な場合にはジオアリーナでの開催を提案していきたい。

③恐竜博物館の機能強化やPARKERによる施設再整備が行われることから、公園全体の施設配置計画の中で、有効かつ効率的なエリアを検討していく。

○ 自治体の情報発信の重要性について

新風会・公明
下牧 一郎 議員



問 ニューノーマル時代の観光産業において、激的な誘客競争を何としてでも勝ち抜くためには、市長の強力なリーダーシップの下、疲弊した観光を立て直し、勝山経済を早期に回復基調へと押し上げ、市長が目指す地方創生へと確実につなげていくべきだと考える。

答 準備を進めてきた長尾山総合公園のPark7th導入による再整備については、11月30日のプレゼンテーションの結果、株式会社勝山ホテルマネジメントを代表企業とするグループを設置等予定者として選定した。北陸新幹線福井駅・敦賀駅開業や中部縦貫自動車道県内全線開通を見据え、県立恐竜博物館の機能強化と連携を取りながら長尾山総合公園「かつやま恐竜の森」全体を恐竜王国福井県の唯一無二の目的地として位置付けていく。

また、スキージャム勝山や道の駅恐竜溪谷かつやまエリア、白山平泉寺、ゆめおーれ勝山等、魅力的な観光資源を活かすには効果的な観光情報発信が大切と考える。

近県や関西圏に加え、中京圏や関東圏からの観光客増加が期待できる。北陸新幹線を利用した関東圏からの観光客には市内での宿泊に向けた情報発信を、中京圏からの来訪者には自家用車での周遊プランの情報提供が必要になる。

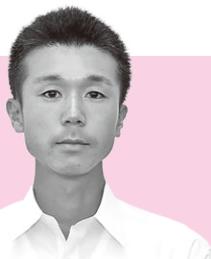
近県や関西圏からのリピーター客に対しては、新たな魅力を提供することで安定した集客を図ることができると考える。

また、エリア別、年代別、カップルやファミリー層といった同行者別等、様々な切り口ごとに提供する情報内容だけではなく、情報提供するメディアの分析も進めていく必要がある。

来年4月に予定している機構改革では、商工文化課において戦略的に県外からの観光誘客に取り組む担当係を設置して対応していきたい。

○ 新型コロナ対応の事実確認と提案

市民の会
中山 光平 議員



その他の質問
・勝山市民の生活環境向上提案

問 現在、ワクチン・検査パッケージ（ワクチンパスポート）や5〜11歳のワクチン接種等の準備が進められているので、それらを含めて事実確認と提案をしたい。厚生労働省から発表されている次の情報に間違いはないか。

① 11月9日時点で、国内の新型コロナウイルス感染症による重症者の割合は、19歳以下が0%、死者は10代が3人、10歳未満は0という点。

② ファイザー社製新型コロナウイルスワクチンの臨床試験結果では、ワクチン接種をしなかった集団の発症率が約0.9%に対して、ワクチン接種をした集団の発症率が0.04%であったことから有効率95%と表記されている点。

③ 11月12日時点でモデルナ製ワクチン接種による死亡疑いが46人、ファイザー製ワクチン接種による死亡疑いが1279人と専門家の評価がされた方だけで合計1325人だが、政府からの補償例は1件もないという点。

答 ① 厚生労働省が開催した11月15日の第26回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会の資料では、10代の死亡者が3人、10歳未満は0人。

② 間違いはない。

③ 11月12日の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会で新型コロナウイルスワクチン接種後の死亡として報告された事例のうち、専門家の評価が実施された件数は1325人と聞いている。補償については差し控える。

問 ワクチンパスポートについて、現段階で証明が求められる情報に「抗体検査」が含まれていない。感染対策のためであれば抗体の有無や量を調べるべきであり、これはブレイクスルー感染していることから明らかだ。抗体検査の導入が適当であると考えるが市の見解を問う。

答 国が発表したワクチン・検査パッケージ制度要綱には、抗体検査の活用については記載されていない。ワクチン検査パッケージ制度は全国で適用する制度であり、市独自で抗体検査を活用することは考えていない。

定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案
■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
認定第1号	令和2年度勝山市歳入歳出決算の認定について	決 算 特 別	認 定
認定第2号	令和2年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決 算 特 別	可決並びに認定
議案第43号	令和3年度勝山市一般会計補正予算（第4号）	予 算	可 決
議案第44号	令和3年度勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	可 決
議案第45号	令和3年度勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議案第46号	令和3年度勝山市介護保険特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	可 決
議案第47号	令和3年度勝山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	建 設 産 業	可 決
議案第48号	令和3年度勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	建 設 産 業	可 決
議案第49号	令和3年度勝山市水道事業会計補正予算（第2号）	建 設 産 業	可 決
議案第50号	令和3年度勝山市市有林造成事業特別会計補正予算（第1号）	建 設 産 業	可 決
議案第51号	勝山市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第52号	勝山市行政組織条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第53号	勝山市国民健康保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第54号	勝山市道路線の認定について	建 設 産 業	可 決
議案第55号	大蓮寺バイパス幹線整備工事請負契約の締結について	建 設 産 業	可 決
議案第56号	勝山市行政財産使用条例の一部改正について	建 設 産 業	可 決
議案第57号	はたや記念館「ゆめおーれ勝山」の指定管理者の指定について	建 設 産 業	可 決
議案第58号	勝山市ジオターミナルの指定管理者の指定について	建 設 産 業	可 決
議案第59号	勝山市道の駅「恐竜渓谷かつやま」の指定管理者の指定について	建 設 産 業	可 決
議案第60号	勝山市立野向町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	建 設 産 業	可 決
議案第61号	令和3年度勝山市一般会計補正予算（第5号）	予 算	可 決
意見書案第5号★	持続可能な農業への支援策を求める意見書	—	可 決

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳情第5号	政府の新型コロナ禍での米価格暴落対策が皆無の中、自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める意見書提出について	建 設 産 業	趣旨採択

◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 番 号	総投票数	投票数		松本聖司郎	中山光平	安岡孝一	富士根信子	高間清一	久保幸治	竹内和順	吉田清隆	下牧一郎	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	帰山寿憲	山田安信	乾章俊	
		賛成票	反対票																	
認定第1号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
認定第2号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第51号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第52号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第57号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第59号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長

○=賛成、×=反対、不=不在、議長=議長職（通常は採決に加わらない）

Facebookを活用した情報発信

勝山市議会の活動をお知らせする手段の1つとして、昨年6月からFacebookを活用しています。ここでは、各委員会等で議論が交わされた内容や本会議のお知らせ、議会だよりに書き切れなかった内容などを掲載しますので、ぜひご覧ください。

また、当Facebookのメッセージから市議会へのご意見をいただくことがあります。届いたメッセージは市議会でも共有しますので、お気軽にお寄せください。



勝山市議会
Facebook

● 議会だより第81号に掲載したメッセージ

行政から新型コロナや新型コロナワクチンの情報が発信されているが不足を感じる。議会からも働きかけてほしい。

A. 新型コロナウイルス、ワクチン関連の情報発信力の向上が不可欠という主旨の意見が議員から以下の会議等に出され、議論しています。

全員協議会・総務文教厚生委員会・予算委員会・決算特別委員会・災害対策支援本部会議・令和2年12月一般質問・令和3年6月、9月、12月一般質問

■ 新たに届いたメッセージ（要約）

- ワクチンサポート制度を進めると差別問題に繋がる可能性を感じる。
- 子育て中の市民だが、周りには中学校再編のことを知らない方もいる。知っていても長所と短所の説明不足を感じる。
- 市内のあるイベントの参加条件がワクチン接種2回済みとなっている。任意接種なのになぜか。
- 学校におけるマスク等のコロナ対応が、子どもに大きいストレスを与えている。議会ではこのような問題を認識しているのか。

議会日誌

10月29日(金) 総務文教厚生委員会、建設産業委員会、全員協議会、議会運営委員会	7日(火) 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会
11月 3日(水) 勝山市教育委員会表彰式	8日(水) 総務文教厚生委員会
5日(金) 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会	9日(木) 建設産業委員会
15日(月) 勝山市防犯隊秋季錬成大会	10日(金) 予算委員会、議会広報特別委員会
16日(火) 福井県市議会議長会議員研修会	13日(月) 議会改革特別委員会、議会運営委員会、総合計画特別委員会
22日(月) 勝山市雪害対策会議	16日(木) 総務文教厚生委員会、建設産業委員会、議会運営委員会、全員協議会、本会議
23日(火) 永年勤続優良従業員表彰式	22日(水) 勝山・永平寺衛生管理組合議会
24日(水) 議会改革特別委員会	23日(木) 大野・勝山地区広域行政事務組合議会
26日(金) 本会議、全員協議会	1月 8日(土) 消防出初め式
30日(火) 人権週間街頭啓発	11日(火) 勝山市議会災害対策支援本部会議、議会広報特別委員会
12月 2日(木) スキージャム勝山スキー場開き	17日(月) 議会広報特別委員会
3日(金) 建設産業委員会、県下一斉年末特別警戒激励	
6日(月) 本会議（一般質問）、議会運営委員会	

《議会広報特別委員会》 委員長 下道 恵子 副委員長 松本聖司郎 中山光平 富士根信子 久保幸治